

Q ダウ平均はどこ国のインデックスですか？

A ダウ平均（ダウ・ジョーンズ工業株価平均。いわゆるNYダウ）は、米国株式市場の代表的なインデックスです。ニューヨーク証券取引所やナスダックに上場している普通株式などで構成されています。

ダウ平均は単純に30銘柄から構成されているのではなく、業種分散も考慮しており、米国市場を代表する指数となっています。なおダウ平均では、輸送企業と公益企業が除かれています（別に指数が存在するため）。

ダウ平均採用銘柄は、ほぼS&P500指数に組み入れられており、（S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社調べ）S&P500指数の時価総額の25%～30%を占めています。

Q ダウ平均は円高、円安の時はどうなりますか？

A 円安（例：1ドルが100円から110円になった場合など）の時は円換算ではプラスとなります。

円高（例：1ドルが100円から90円になった場合など）の時は円換算ではマイナスとなります。

Q ダウ平均の情報はどこで手に入れますか？

A S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社のホームページには毎月のダウ平均（米国株式）の市況やダウ平均の月次レポートなどが掲載されています。

Bloomberg社などでもダウ平均の値動き情報が公開されています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

Q ダウ平均はいつ頃から算出されているのですか？

A ダウ平均の起源は1896年（第1回夏季オリンピックがアテネで開催された年）までさかのぼり、当初、12銘柄だけで算出されていました。

ダウ平均の構成銘柄が30銘柄となったのは1928年（世界恐慌の前年）のことです。

Q ダウ平均の魅力はどのような点にありますか？

A 長い歴史を持つ由緒ある指数であり、米国の大型株の値動きを捉えることができます。

ダウ平均の採用銘柄は、有名大企業で「ブルーチップ（優良株）」と呼ばれることもあります。

ダウ平均は価格加重を使用しています。そのため、株価が高い銘柄の価格変動は、株価が低い銘柄の価格変動より指数の水準に大きな影響を与えます。株価の変動が指数に与える影響が過度にならないよう、株価が極めて高い銘柄はここ数年ダウ平均に採用されていません。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q ダウ平均の組入銘柄はどのように変化してきましたか？

A

当初12銘柄で構成されていたダウ平均ですが、多くの企業が歴史の中で消えていくか、合併されるか、あるいはその他の企業に引き継がれました。

当初の社名で指数に残っているのはGE（General Electric）のみですが、GEも指数から除外されていた時期がありました。

指数算出以降、ダウ平均の構成銘柄はニューヨーク証券取引所の上場企業の中からのみ採用されていましたが、1999年11月1日には、ナスダックの上場企業が初めて採用されました。

次に、ダウ平均に当初採用されていた12銘柄の現在の状況を記載しています。

当初採用12銘柄の今

会社名	現在の状況は？
American Cotton Oil	Best Foodsの遠い祖先にあたり、現在はユニリーバに吸収合併された。
American Sugar	Amstar Holdingsに変貌している。
American Tobacco	独占禁止法違反の訴訟により1911年に分割された。
Chicago Gas	1897年にPeoples Gasに吸収された。
Distilling and Cattle Feeding	Whiskey trustがMillennium Chemicalsに変貌した
General Electric	継続して指数の構成銘柄ではなかったものの、現在もダウ平均にとどまっている。
Laclede Gas	1899年にダウ平均から除外されたが、会社は現在も存続している。
National Lead	同社は1914年にダウ平均から除外された。
North American	1940年代に分割された。
Tennessee Coal & Iron	1907年にU.S. Steelに吸収された。
U.S. Leather (preferred)	1952年に清算された。
U.S. Rubber	Uniroyal となり、現在はMichelinの一部となっている。

出所：S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス（American Cotton Oilのみ一部大和投資信託で修正）

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q ダウ平均に採用されている企業のブランド力はどうか？**A** ダウ平均にどの銘柄を採用するかは最終判断は、株価平均委員会が行なっています。

委員会は適格企業の名声、持続的な成長の長期実績、投資家の関心度、セクターを代表する企業かどうかなどに注目します。

結果として、米国を代表する大型優良企業が採用されており、世界的にもブランド力が高い企業で構成された指数であると言えます。

Q ダウ平均とS&P500の違いはどこにありますか？**A** ダウ平均は米国の代表的な銘柄の価格加重をもちいる指数である一方、S&P500は米国の全主要セクターに投資する浮動株修正後の時価総額加重をもちいる指数です。

両指数ともに米国株式市場の傾向を捉える指数ですが、S&P500の採用銘柄数は500であり、ダウ平均と比較すると構成銘柄が分散化しています。

長期的には、両指数のパフォーマンスには高い連動性が見られますが、2000年以降、ダウ平均は2009年のような相場下落局面にはS&P500指数に比べて下げ幅が小さくなる傾向があり、2013年や2014年のような相場上昇局面にはS&P500指数に比べて上げ幅が小さくなる傾向があります。

この傾向に影響している要因の一つとして、ダウ平均がややバリューを重視し、株価の変動が比較的小さい優良大型株を網羅してきたことが挙げられます。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。